

WGP世界チャンピオン

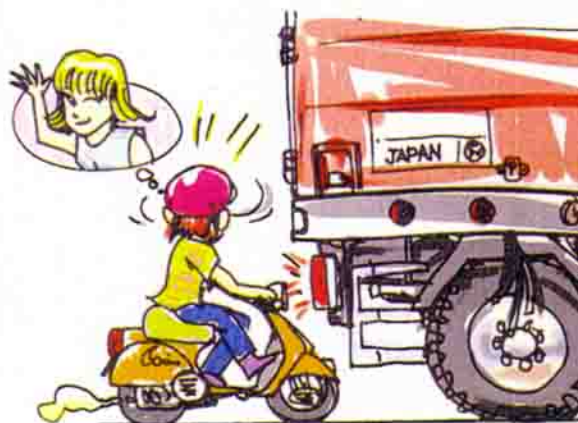
ミック・ドゥーハンの顔面と頭部を守ったヘルメットは、ご覧の姿になってしまいました。



第3戦スペイン・ヘレスサーキットでの予選2回目、3コーナーの立ち上がりで白線に乗り、3速全開180kmのスピードでマシンから投げ出されたドゥーハンの体は、ほとんどスピードが落ちないまま、コースサイドの看板に叩き付けられ重傷を負った。その凄まじさは、このヘルメットの傷跡にはつきり残っている。幸いにしてドゥーハンには、早ければ夏休み明けにもカムバックする意向だ。



ストリートは半帽でいいじゃん！  
と言うあなた！街中にはサーキット以上の危険が溢れています。



エステに行こうかな～?!とか悩む前に、  
あなたの大切な顔をフルフェイスヘルメットで守ってください。